

福知山鉄道館 第一回企画展示

◆テーマ「北丹鉄道」

◆概要

交流企画展示スペースは、期間限定の特設展示やイベント実施などに使用できるスペースです。子ども達が参加できるような企画や企業・団体などとのコラボレーションによる企画などを展開します。

オープン時には「北丹鉄道」の特別展示を企画しています。北丹鉄道は現在の京都丹後鉄道の宮福線（福知山―宮津間）の開通に大きな影響を与えた鉄道会社です。

1988（昭和 63）年 7 月 16 日に、宮福鉄道株式会社によって、丹波と丹後を結ぶ新しい鉄道、宮福線（福知山―宮津間）が華々しく開通しました。

その歴史は遡ると古くは、1892（明治 25）年頃に福知山と宮津を結ぶ鉄道建設の運動が起こっていたため、100 年来の悲願が実ったこととなります。この開業にたどり着けたのは先人達の夢を決して諦めることなく、目的達成に向けて粘り強く努力を続けてきた地元住民の熱意の結晶でした。

この華やかな開業の影には 1971（昭和 46）年 3 月に寂しく消えていった北丹鉄道のことを忘れることは出来ません。宮福鉄道株式会社にバトンタッチする夢を見続けてきましたが、赤字経営が続き、ついに持ちこたえられなくなってしまいました。1971（昭和 46）年、惜しむ声の中「お別れ列車」を運行し、宮福線（福知山―宮津間）の開通を見ないまま、半世紀にわたる北丹鉄道の歴史を閉じました。

その北丹鉄道で当時、実際に使われていた品々や走行していた列車の写真など、貴重なものの数々を展示します。

◆展示内容（一部）



【鉄道プレート】



【写真】



【鉄道用品】



【記念レール】